

3ステップでわかる!

セルフレメディケーション講座 第22回

虫刺されの対処法

早めに対処して悪化を防げば、医療費も抑えられます。商品の購入時に役立つ、基礎知識や注意点などを紹介します。



教えてくれた人
岩月 進さん
(いわつき・すすむ)

日本薬剤師会常務理事

薬局では、遠慮なく薬剤師にご相談ください

Step 1 使用シーンを想定して虫除け剤を選ぶ

虫除け剤は成分濃度が高いほど効果が長続きしますが、効き目は変わリません。選ぶポイントは、「どこで・誰が・どれくらいの時間使用するのか」を具体的に想定することです。

もっとも重要なのは「どこで使用するのか」。これで薬の形状が決まります。たとえばキャンプ場で使用する場合、蚊の侵入を防ぎたいテントの入り口などには「吊るすタイプ」、室内には「噴霧タイプ」が効果的です。バーベキュー場などの開けた場所なら、肌に直接塗ったり、スプレーするタイプがおすすぬ。お子さんが肌を舐めてしまひそうなら、シールタイプを選んでみてください。

次に「誰が・どれくらいの時間使用するのか」を考え、適した成分のものを選びます。

代表的な成分はデイトとイカリジンの2種類です。

①デイト 効果は最大6時間続きます。蚊やブヨだけでなく、サシバエなど多様な虫に効果があるので、登山の際などにおすすぬ。しかし使用には年齢制限があり、成分濃度30%の場合は12歳以上、12%以下は生後6か月以上から使用できます。また、プラスチックや合成繊維を変質・変色させるため、服や鞆などに注意が必要です。

②イカリジン 効果が持続する時間はデイトとほぼ同じです。効果のある虫は蚊やブヨなどに限られますが、年齢制限がなく、服の繊維を傷めないの、誰にでも安

Step 2 虫に刺されたら、すぐにかゆみ止めを塗りましょう

心して使えます。そのほかハープが主成分の虫除け剤は効果の持続時間が短いので、短時間で終わる庭仕事などに使用してください。

虫に刺されても、かくのは厳禁。肌が刺激され、より強いかゆみを引き起こすだけでなく、傷口から細菌感染するリスクもあります。刺されたらすぐに患部を流水で洗い、かゆみ止めを塗りましょう。かゆみ止めのタイプは2種類。かゆみの強さや症状で使い分けま

す。

①軽いかゆみ 刺された直後や、軽度のかゆみには、抗ヒスタミン成分配合の軟膏を塗ってください。アレルギー反応からくるかゆみを

Step 3 かゆみ以外の症状が出たら病院を受診しよう

抑えます。

②強いかゆみ かゆみが収まらないときや、炎症を起こしている場合には、ステロイド外用薬を塗りましょう。

患部をかき壊してしまったときには、「化膿を抑える」ことが大事。抗生物質配合のステロイド外用薬を選ぶと効果的です。

かゆみ以外に、発熱や水ぶくれなどの症状が出た場合は、すみやかに医療機関へ。蜂に刺されると、アナフィラキシーショック(*)により呼吸困難になったり、意識を失うおそれがあります。その場合、すぐに救急車を呼びましょう。

薬選びに迷ったら、薬剤師に相談して。患部の状態や症状の強さなどを詳しく伝えてみてください。適切な虫刺され対策で、快適な夏をお過ごしください。

服から出ているところにまんべんなく塗るのが大事。こまめに塗り直して。

汗をかいたから、塗り直そうね

*アレルギーが体内に入ること、呼吸困難や腹痛、意識消失、血圧低下などの重い症状が出ること。